



2009年1月28日

三菱レイヨン株式会社

横浜先端技術研究所の新設について

三菱レイヨン株式会社（本社：東京都港区、社長：鎌原 正直）は、横浜事業所内に横浜先端技術研究所を新設します。当社は新研究所を電子、光学材料及び、ライフサイエンス分野の新技术、新事業創出拠点と位置づけ、研究棟の他、大型クリーンルームや試作開発機能強化のための実験棟を併設します。

新研究所には、現横浜技術研究所のバイオケミカルズ研究グループ、バイオデバイス研究グループ、先端機能材料研究グループなどに加え、東京技術・情報センター（神奈川県川崎市多摩区）の開発機能も順次移設、統合し研究開発力の強化をめざします。

今後は、要素技術であるバイオ技術、モノマー合成、高分子重合、高分子精密賦形技術をベースに、全社の研究所と連携しながら、新素材新事業の創出を加速します。

なお新研究棟は、床面を含めた全ての外周面の断熱構造化や、超省エネ型照明機器類の採用など、最新の省エネ技術や温室効果ガス削減技術を取り入れたほか、人工軽量土壌を使用した屋上緑化など環境にも配慮した設計となっています。

【横浜先端技術研究所概要】

所在地 : 神奈川県横浜市鶴見区大黒町10-1 横浜事業所内
所長 : 古林 祥正
研究員 : 220名
主な研究分野 : ライフサイエンス領域、IT・情報デバイス領域、
機能性ケミカルズ、機能性材料他
延床面積 : 約8,000㎡（地上6階建て）
研究棟完成 : 2009年2月
発足日 : 2009年2月1日

***** 本件に関するお問い合わせ先 *****